初級、1 級におけるISUジャッジングシステム・ウェルバランスについて

平成 24 年 9 月 15 日

東京都スケート連盟フィギュア事業部・強化部

日本スケート連盟より無級から 2 級までのISUジャッジングシステムのウェルバランスのガイドラインが示されたことを受けて、東京都スケート連盟では**本競技大会(オール関東 2012)**において、初級から 1 級までの競技について以下のウェルバランスで競技を実施致します。

初級ウェルバランス

演技時間:1 分±10 秒

採点プログラムコンポーネンツ:スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

転倒による減点: -0.2

ワルツジャンプの実施の可否:可

ジャンプ要素:最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシーケンスを 1 回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。同じ種類のジャンプは 2 個まで。(回転数が異なっても同じ種類とする)

*ダブルジャンプは禁止とする。

*シングルの回転不足はすべてUNDER-ROTATION判定とする。

スピン要素:最大1つまで

1ポジションのスピン(基本姿勢で3回転以上)ただし、レベルB で評価する。

(足換えとフライングは可能・最少 5 回転)

1 級ウェルバランス

演技時間:1 分±10 秒

採点プログラムコンポーネンツ:スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

転倒による減点: -0.2

ワルツジャンプの実施の可否:可

ジャンプ要素:最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシーケンスを 1 回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。同じ種類のジャンプは 2 個まで。(回転数が異なっても同じ種類とする)

*ダブルジャンプは禁止とする。

*シングルの回転不足はすべてUNDER-ROTATION判定とする。

スピン要素:最大1つまで

1ポジションのスピン(基本姿勢で3回転以上)ただし、レベルBで評価する。

(足換えとフライングは可能・最少 5 回転)

ステップシーケンス:最大1つまで ただし、レベルBで評価する。

初級、1 級におけるISUジャッジングシステム・ウェルバランス Q&A

ジャンプについて

Q1「禁止とされているジャンプを行った場合はどうなりますか？」

A1「禁止のものは、余分な要素となり、無価値の要素になります。認められた範囲で、より質の良いジャンプを行うように努めてください。」

Q2「ワルツジャンプを実施した場合、点数はありますか？」

A2「はい、あります。」

Q3「ステップの中で、前向き踏切の半回転ジャンプが合った場合、どうなりますか？」

A3「ワルツジャンプを認めている以上、ワルツジャンプを行ったものとして認定される場合があります。最終的に、ジャンプの要素数が規定より多い場合、5つ目以降の他のジャンプが余分な要素とされて無価値になりますので、今大会においてはワルツジャンプに似た半回転ジャンプはステップ中に行わないことに対応をお願いします。」

Q4「コンビネーションジャンプにおいて、3 連続ジャンプは可能ですか？」

A4「今大会は不可です」

Q5「初級と1 級で、同じ種類のジャンプは2 個まで、というのは2NDジャンプも含まれますか？」

A5「含まれます。1STでも2NDでも同じ種類は2 回までです。種類とは回転数に関係なく、A・S・T・Lo・F・Lzの6 つのことです。同じ種類のジャンプが3つある場合には、3つ目のジャンプが余分な要素となり無価値となります。(3つ目がコンビネーションやシークエンスの一部にある場合、この要素自体が無価値です。)

Q6「シングルジャンプにおいて、踏み切りに失敗して、前向きで着氷した場合はどうなりますか？」

A6「ジャンプを試みて、半分以上足りない回転であった場合には、そのジャンプは無価値のジャンプとして認定されます。また、シングルアクセルを試みて、1 回転近く足りない場合にも、ワルツジャンプではなく、無価値のジャンプとして認定されます。」

スピンについて

Q1「1つは1ポジションのスピン(基本姿勢で3回転以上)ただし、レベルB で評価する。」とはどういう意味ですか？

A1「基本姿勢で3 回転回ったと認定されたらレベルB、認定されなかったらノーレベルと言う意味です。初級と1 級ではレベルを上げる要素を試みてもレベルBより上がりませんが、GOEで評価はされます。」

Q2「1ポジションのスピンで、シットやキャメルを行った後に、アップライトで回った場合にどうなりますか？」

A2「チェックまでの単なるwindアップとして回った場合には、1 ポジションのスピンとして認定されますが、手や足を締めて2 回転以上した場合にはコンビネーションスピンとして認定される可能性があります。アップライトを試みたと思われる動作を行わないようにご注意ください。」

ステップについて

Q1「難しいターンやステップを入れる必要はありますか？」

A1「ターンやステップ、動き、曲との調和など、選手の実力を十分にアピールするポイントとして有効に活用されることを期待しております。プラス評価されるように努めてください。」

ウェルバランスに関する問合せは受け付けておりません。(問合せは大会運営用) 予めご了承ください。